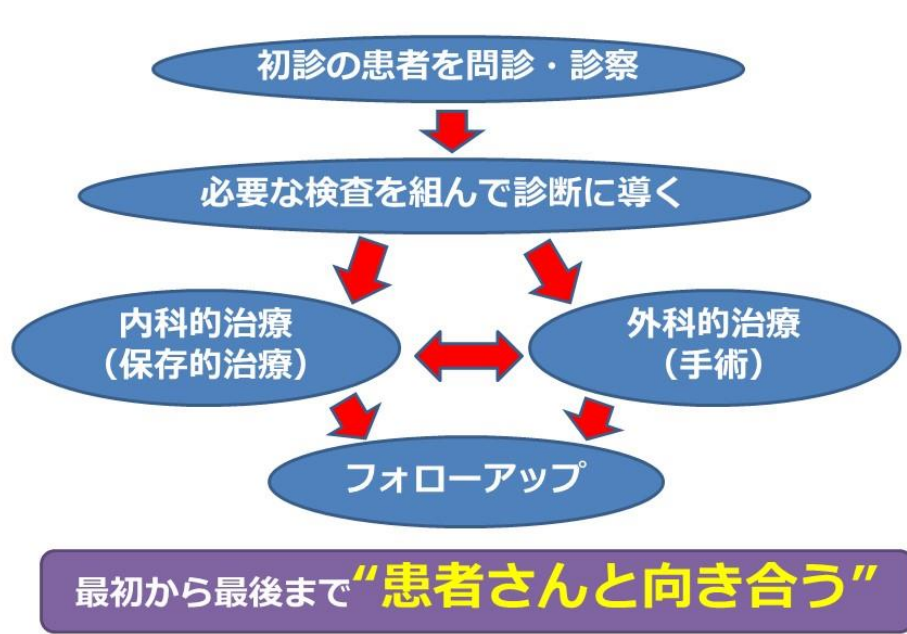
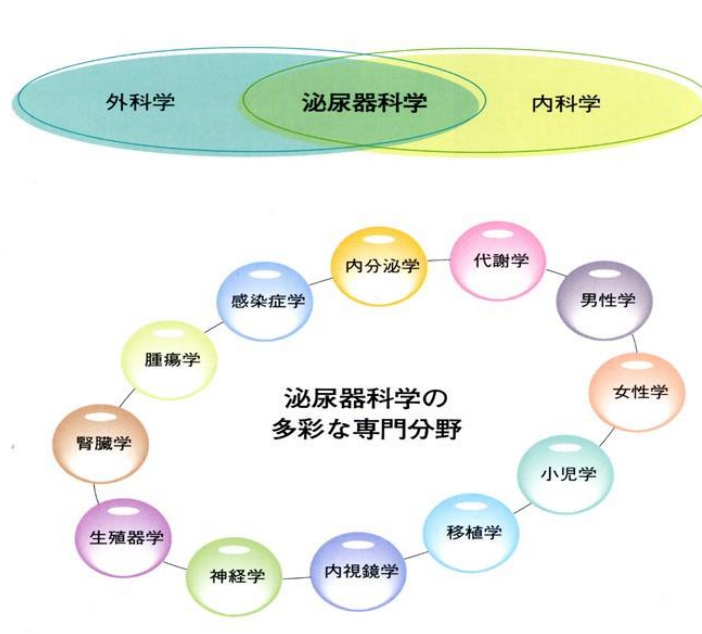


# 合同入局説明会 腎泌尿器外科学講座

## 泌尿器科医の魅力



## 泌尿器科の特徴



## 泌尿器科医としての歩み

1-2年目

- ・初期研修（研修希望科を自由に選択）
- ・他病院にて研修
- ・希望により泌尿器科の研修

★ 入局時期はいつでもOK

3-6年目

- ・後期研修
- ・泌尿器科医としての**基礎を修練**
- ・大学病院、関連病院を交互に研修



★ 日本泌尿器科学会専門医取得

6年目～

- ・泌尿器科全般のさらなる研修（**難易度の高い手術**など）を積みつつ専門分野（腫瘍、排尿、小児、結石など）を選択
- ・国内、国際学会発表
- ・**大学院にて基礎研究**
- ・専門性（癌、結石など）をもった**国内研修施設にて研修**
- ・国内、海外研究留学



★ 日本泌尿器科学会指導医取得  
各種専門医取得（腹腔鏡、がん治療、小児泌尿器など）

### 国内研修例

- ✓H医師（8-10年目） 国立がん研究センター中央病院
- ✓A医師（12-14年目） 北海道がんセンター

### 国内留学例

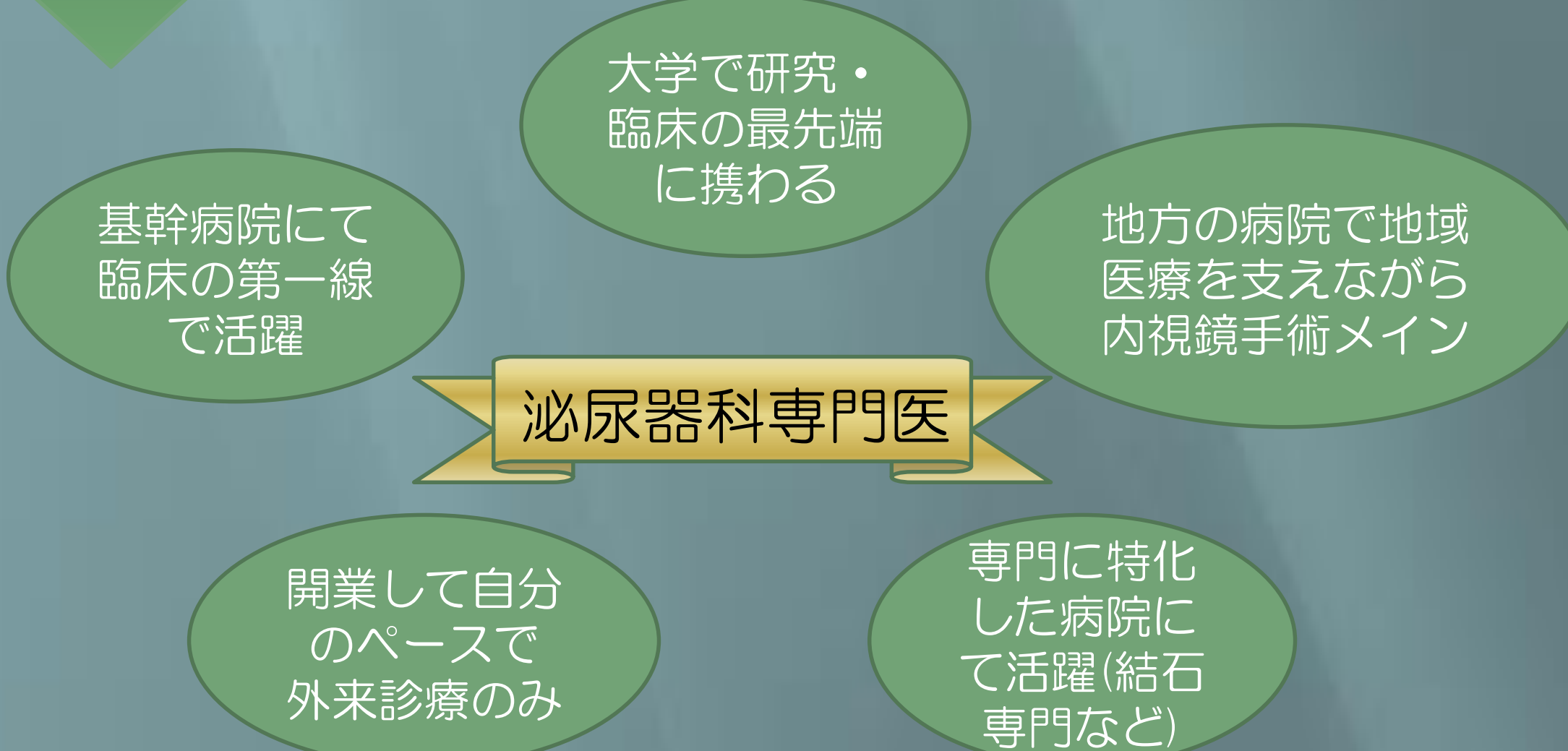
- ✓W医師（8-10年目） 生理学研究所 岡崎統合バイオサイエンスセンター

### 海外留学例

- ✓K医師（10-11年目） ピッツバーグ大学泌尿器科（米国）
- ✓W医師（14-15年目） ピッツバーグ大学泌尿器科（米国）

10-15年目～

- ・個人の目標、ライフスタイルに合わせて複数の選択肢
- ・決して個人の進路は強要されません



全国的に泌尿器科では  
**女性医師が不足しています！！**



「女性泌尿器科医の会」という全国的な横の繋がりで支え合う組織もあります。



2015年5月  
日本泌尿器科学会総会  
女性泌尿器科医の会  
当科入局者および入局予定者数名が参加しました

当教室は女性医師を全力でサポートします。しかし、これは今の時代当たり前  
当教室では  
**女性医師と結婚し  
妻と子供に頭のあがらない男性医師**  
も全力でサポートします。

当教室では

- ・奥様の国内、国際学会出席に合わせて、定期的出張や、当直の変更を行っています。
- ・保育園のお迎えなどがある日は定時での帰宅を認めています
- ・夏休みを奥様と同時期に調整しています
- ・お子様の急な病気などで奥様も仕事を離れられない時は、出勤時間の繰り下げや、早退を認めています。

## 当教室イクメン、女性医師の言葉



堀淳一先生（2001年卒）

2001年卒業と同時にすでに医師として働いていた妻（皮膚科医師）と結婚しました。現在は12歳と7歳の男子の4人家族です。子供が小さい時はこの家庭でも同じと思いますが、風邪などで保育園や小学校から電話があったり、その上自分達の仕事も忙しく、特に妻は独身の頃と違って思ったように仕事が出来ず、随分とストレスを感じていたと思います。妻のストレスのはけ口が自分になっていましたが、ストレスのはけ口があることが重要であり、子育て中の女性が十分に仕事ができる環境を少しでも作ってあげようと思っていました。特に自分が東京の病院で研修している3年間は、妻は十分に仕事ができず随分と考えることがあったと思います。ただ、東北の大震災で東京で経験し、家族の大切さを改めて感じることができた意味では重要な3年であったと時々話しています。

2回の育休を経て、また皮膚科は二輪草センターにも関連しているため、幸いにも恵まれた環境で仕事が出来ていると思います。ただ、それでも十分に勉強する時間がなく、朝4時に起きて色々仕事をこなしている妻を今後もサポートしながら、お互いキャリアアップできればいいかなと思っています。



土田美緒先生（2014年卒）

私は今年3月に初期研修を終え、4月から泌尿器科医として働き始めました。元々旭川医大の泌尿器科には女性医師が居なかったということ、授業ではイメージが付きにくい科なので将来の選択肢としては考えてはなかったのですが、5年生の実習の時に先生が丁寧に説明や指導をして下さった事、診断から治療まで一貫して関与出来る事、そして多種多様な手術や治療方法がありライフワークや自分の興味に応じて幅広い選択肢が出来るという事が印象に残り、泌尿器科を選びました。現在泌尿器科には私を含め2人の女性医師が居ます(更に1人入局決定済)。入局を決定してから働くまでの間に何度か「男の先生ばかりの中でやっていけるのだろうか」という不安を抱きましたが、全くそんな心配は無用でした。性別を理由に症例が当たらないという事もありませんし、変に気を使われて気まずくなるような事もなく、忙しいながらも充実した日々を送っています。全日本の学会では日本各地の女性泌尿器科医の親睦会が毎年開催され、そこで他の病院の女性医師の方もお話しをすることができます。自分の病院には女性が居なくても、そのようにして他の病院の先生と交流を持つことができ非常に励みになりました。老若男女を対象にして、診断も治療も自分の科で。そして15分程度の小手術から10時間以上の大手術までという欲張りな科ではありますが、先生方を見ると決して家庭をないがしろにしている訳ではなく、家庭の仕事と医師としての仕事を両立して生活しています(運動会に合わせて休みを取ったり、子供の夏休みに合わせて自分の夏休みを取ったりもしています)。手術が好きで、診断から治療まで見た人、とにかく色々やってみたい人、取り敢えず泌尿器科の雰囲気が好きでこの雰囲気なら頑張れそう人。男女問わず絶賛大賛集中です。一緒に働く仲間が増えるのを楽しみにしています！(出来たら女の子の仲間が増えたらもっと嬉しいな...('・ω・'))